

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器・一般外科では、静岡県立がんセンター肝・胆・膵外科が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記代表責任研究機関および研究協力施設に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] **膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法とS-1療法の第 相比較試験 (JASPAC 01) 」の附随研究 膵がん切除例における補助化学療法の効果予測因子および予後因子に関する研究**

[代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：静岡県立静岡がんセンター肝・胆・膵外科 上坂克彦

本研究に関する問い合わせ先：静岡県立静岡がんセンター肝・胆・膵外科 岡村行泰

電話：055-989-5222（応対可能時間：平日9時～16時）、ファックス：055-989-5634

Eメール：yu.okamura@scchr.jp

[利用・提供の対象となる方]

平成19年4月1日～平成27年6月30日までの間に、当院消化器・一般外科において膵癌と診断され、手術を受けられ、JASPAC01試験に同意された方

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：手術残余標本（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査）、疾患情報、治療経過、自他覚所見等

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究： 無）

JASPAC 01研究に参加された患者さんの遺伝子の発現状況とタンパク発現量を調べ、より治療効果が期待できる膵がん患者さんを特定すること

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部 部長 細田和貴

2. 京都府立医科大学 人体病理学 名誉教授 柳澤昭夫

3. UNIVERSITY OF LIVERPOOL（英国）

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

提供方法： 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における問い合わせ担当者]

研究責任者：消化器・一般外科 教授 本田五郎

研究内容の問い合わせ担当者：消化器・一般外科 准講師 植村修一郎、助教 松永雄太郎

電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-7507